

平成30年10月活動報告

<p>10月9日 木</p>	<p>16:00 ～ 17:00</p>	<p>診療所内カンファレンス 前田医院 17名参加 11症例のカンファレンスを実施 訪問看護の丁寧な人間関係の構築 ケアマネが対象者を“やる気”にさせるプランニング ⇒誰がどうケアすることがベストかを具体化することが必要と感じました。 訪問看護などの介入がない場合の在宅療養者のケアの責任者は誰か。 ⇒ケアマネがケアの責任者ではないのでしょうか。多種多様のケースに対応するためにも、 情報交換と情報の共有が図れる診療所内カンファレンスは重要な役割をしていると感じました。 その他の意見交換 病診連携の重要性 包括ケア病床の活用やレスパイト入院について リハビリの今後の地域での活動 等についての意見も出ました。</p>
<p>10月9日 木</p>	<p>18:30 ～ 19:30</p>	<p>口腔ケア研修 第2回目 (特養)第2愛光園 講師:「高齢者の口腔ケア」伊都歯科医師会 内田憲二歯科医師 「人生は口で決まるかも知れない」紀和病院 慢性呼吸器疾患看護認定看護師 白石菜保子看護師 参加者:施設内61名 施設外11名 (講師他関係者4名除く) 今回から開始した事前質問用紙44枚提出があり、実際のケアで困っていることが多く提出されました。質問の回答は次回の研修に回すほどの盛況に終わりました。開催施設榎田介護課長からは、「実はこわ〜い！歯周病が全身に及ぼす影響、口腔ケアの重要性を理解し実践に生かせることが大切」と挨拶がありました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>10月18日 木</p>	<p>17:00 ～ 19:00</p>	<p>口腔ケア研修 第2回目 (老健)メディケア橋本 講師:「口腔ケアと食事のための姿勢づくり」誠佑記念病院 北出貴則理学療法士 ベッド・車いすを使ったポジショニング (体験実習) 誠佑記念病院 北出貴則理学療法士 伊都歯科医師会 岡田隆秀歯科医師 紀和病院 慢性呼吸器疾患看護認定看護師 白石菜保子看護師 参加者:施設内17名 施設外31名 (講師他関係者5名除く) 事前質問用紙15枚提出があり、口腔ケアに使用する適切なケア用品。実際のケアで困っていることなど質問が寄せられました。しかし、熱心な講師の指導と受講者の“自分が体験してみたい”の熱意に時間が足りず、質問は次回の研修に繰り越すことになりました。菊川副施設長も「時間が延長してでも聞いて体験してみたいと思う研修内容でした。そこにある物品でこんなに楽な姿勢を確保できる。この体験が、利用者様の安全で安楽なケアに活かせることでしょ。」と挨拶がありました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>
<p>10月19日 金</p>	<p>14:00 ～ 15:00</p>	<p>診療所内カンファレンス 横田整形外科 11名参加 6症例のカンファレンスを実施 医療と介護を提供されていることもあり、医療と介護双方の視点から助言をいただきケアマネとしてのアセスメントの参考になりました。 横田先生は、フレイルレベル (完全自立ではなくなってきた段階～要介護の一手手前の幅広い時期で、回復可能なレベル) のサポートがないことを指摘。身体的な虚弱に合わせ、老年期はメンタル・ソーシャルフレイルも起こっている。在宅ではそういった視点をもってアセスメントすることが大切とコメントされました。 情報提供 橋本市地域包括支援センター 下条</p>